

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成23年4月1日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

● **需要面…個人消費は、弱い動きとなっている。**

大型小売店販売額(店舗調整後)、ホームセンター・家電量販店販売額ともに前年を下回った。(1月)
新設住宅着工戸数、用途別着工建築物工事金額、乗用車新車新規登録台数、公共工事請負金額のいずれでも前年を下回った。(2月)

● **産業面…鉱工業生産は、足踏み状態にあるが、一部に持ち直しに向けた動きがみられる。**

鉱工業生産指数は、季節調整済指数が前月を、原指数が前年を上回った。(1月)

● **雇用面…雇用情勢は、厳しい状況にある。**

きまって支給する給与は前年を下回ったが、所定外労働時間は前年を上回った。(1月)
求人倍率は、新規・有効とも前月を下回った。新規求人数は前年を上回った。(2月)

○ **需要面の動き**

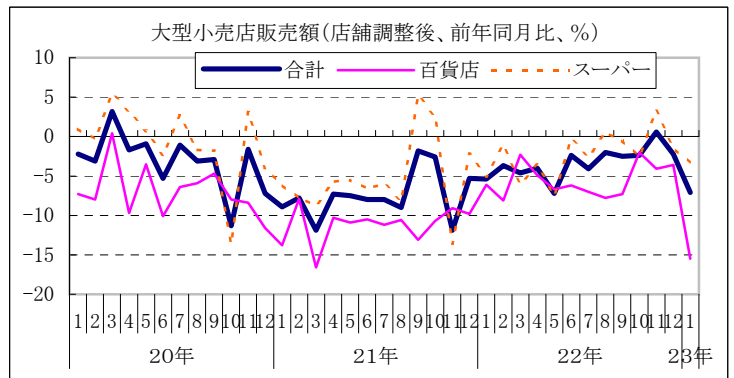
大型小売店販売額(1月)

全店舗の販売額は、56億200万円(前年同月比7.9%減)と7か月続いて前年を下回り、店舗調整後でも前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比	
合計	560,200	▲7.9	(▲7.1)
百貨店	157,900	▲15.5	(▲15.5)
スーパー	402,300	▲4.5	(▲3.3)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(1月)

29億9,900万円(前年同月比7.3%減)と2か月続けて前年を下回った。

乗用車新車新規登録台数(2月)

1,704台(前年同月比14.7%減)と6か月続いて前年を下回った。普通車、小型車及び軽自動車の全ての区分で前年を下回った。

新設住宅着工戸数(2月)

120戸(前年同月比7.0%減)と4か月ぶりに前年を下回った。持家系(前年同月比4.7%減)、貸家系(前年同月比11.4%減)ともに前年を下回った。

用途別着工建築物工事金額(2月)

21億1,300万円(前年同月比1.6%減)と5か月ぶりに前年を下回った。用途別では、卸売業・小売業(前年同月比約40倍)等で前年を上回った。

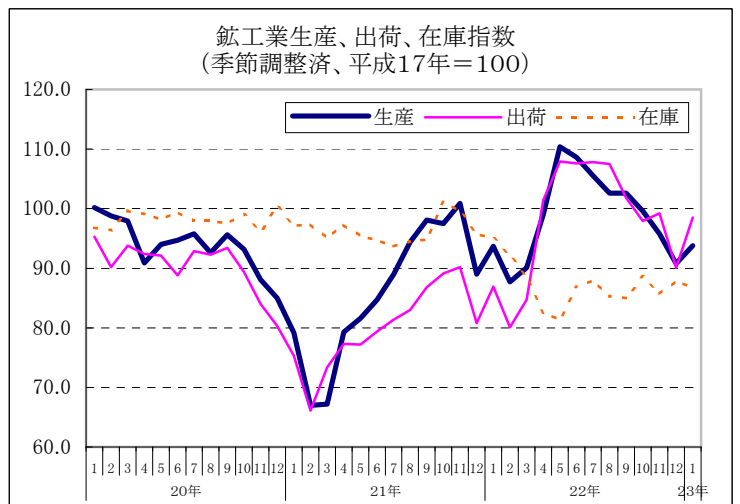
公共工事請負金額(2月)

44億4,600万円(前年同月比31.2%減)と8か月続いて前年を下回った。発注者別の内訳では、国(前年同月比51.7%減)、県(前年同月比6.4%減)等で前年を下回ったが、市町村(前年同月比32.4%増)は前年を上回った。

○ **産業面の動き**

鉱工業指数(1月)

生産指数(季節調整済)は93.8(前月比3.3%上昇)の上昇となり、原指数は81.0(前年同月比2.9%上昇)と2か月続けて上昇となった。
内訳を前月比で見ると、食料品・たばこが7.6%上昇となり2か月ぶりの上昇、電子部品・デバイスが0.3%上昇となり3か月ぶりの上昇、電気機械が2.7%上昇となり3か月ぶりの上昇、一般機械が35.0%低下となり4か月連続の低下となった。
在庫指数(季節調整済)は86.7と前月比1.4%低下した。



大口需要電力実績(1月)

122,879kwh(前年同月比2.0%減)と4か月続いて前年を下回った。鉱工業用の大口需用電力を主要4区分で見ると、機械の区分は前年を下回ったが、それ以外の区分では前年を上回った。

青果物卸売量(2月、鳥取市場)

野菜が1,335t(前年同月比8.5%増)と2か月続けて前年を上回ったが、果実は572t(前年同月比16.5%減)と7か月続いて前年を下回った。

漁獲量(2月、境港)

9,376t(前年同月比19.7%増)と2か月続けて前年を上回った。

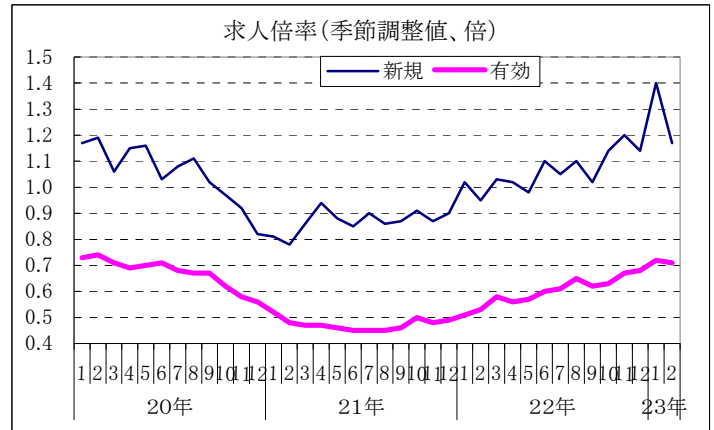
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(2月)

1.17倍(前月差0.23ポイント低下、前年同月差0.22ポイント上昇)であった。なお、新規求人数は、4,101人(前年同月比17.5%増)と7か月続いて前年を上回った。

有効求人倍率(2月)

0.71倍(前月差0.01ポイント低下、前年同月差0.18ポイント上昇)となっており、2か月続けて0.7倍台となっている。



現金給与総額(1月)

238,828円(前年同月比0.9%減)と7か月ぶりに前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、235,097円(前年同月比1.6%減)で2か月続けて前年を下回った。

所定外労働時間(1月)

7.9時間(前年同月比2.5%増)と14か月続いて前年を上回った。主力の製造業は1.1%増となった。産業別の前年同月比では、生活関連サービス業・娯楽業(前年同月比122.2%増)等で前年を上回り、医療・福祉(前年同月比20.5%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(1月末)

預金残高は、1兆9,853億円(前年同月比2.3%増)と25か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,418億円(前年同月比0.8%増)と21か月続いて前年を上回った。

○参考

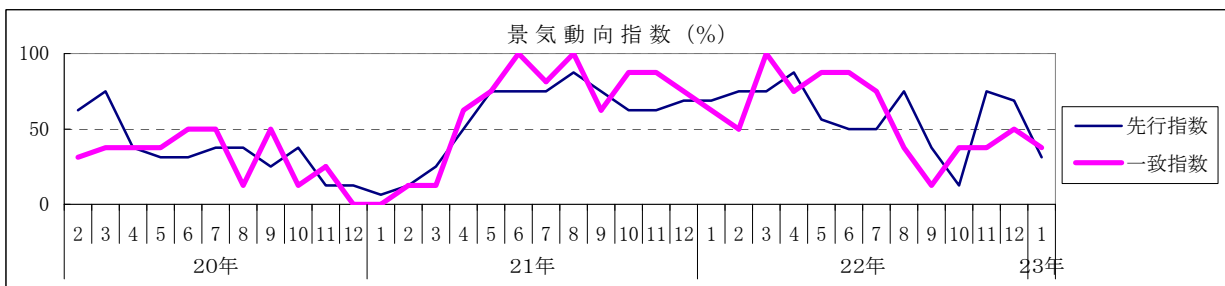
鳥取県景気動向指数(1月)

先行指数31.3%、一致指数37.5%、遅行指数40.0%となった。

先行指数は3か月ぶりに50%を下回った。

一致指数は2か月ぶりに50%を下回った。

遅行指数は2か月ぶりに50%を下回った。



企業倒産(2月)

件数は4件で前年に比べて1件減少(前年同月比20.0%減)となり、負債総額は8億円で前年に比べて6億9,000万円減少(前年同月比46.3%減)した。

消費者物価指数(2月、鳥取市、総合、平成17年=100)

98.7となり、前月比(▲0.1%)は低下したが、前年同月比は同水準となった。

鳥取県の推計人口(3月1日現在)

586,635人で、前月と比べて301人(0.05%)減少し、前年同月と比べて3,495人(0.59%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成23年2月調査)

平成23年1~3月期は、平成22年10~12月期に比べると、景気及び経常利益がきわめて不調、売上高が不調となっている。

平成23年4~6月期は、平成23年1~3月期に比べると、景気が同程度、売上高及び経常利益がやや不調となる見通しとなっている。